

## News release

### シグマ調査2014年損害額概算:世界の災害関連の保険損害額は340億米ドル

- 2014年の災害による経済的損害総額は世界全体で1,130億米ドルに達した
- 2014年の自然災害と人災による保険損害総額は、近年の年間平均を下回る340億米ドル
- 2014年の自然災害および人災による犠牲者数はおよそ11,000名

チューリッヒ、2014年12月17日—スイス・リー・グループ(以下、スイス・リー)のシグマ調査の概算によると、2014年の自然災害および人災による経済的損害総額は1,130億米ドルとなり、2013年の1,350億米ドルを下回りました。経済的損害額のうち保険業界によって補償された金額は340億米ドルとなり、2013年の450億米ドルから24%減少しました。2014年に災害によって失われた人命は11,000名にのぼりました。

2014年の経済的損害推定額1,130億米ドルのうち、自然災害による損害額は1,060億米ドルで、2013年の1,260億米ドルから減少しました。これは直近10年の年間平均損害額である1,880億米ドルを大きく下回っています。自然災害および人災によって失われた人命は、27,000名以上が犠牲となった2013年から減少して11,000名となりました。

2014年の保険損害額は340億米ドルと推定されており、うち自然災害による損害額は290億米ドル(前年は370億米ドル)、人災による損害額は50億米ドルでした。

今年初めには米国と日本で冬の異常気象が発生し、年末にかけて再び米国北東部が異常な低温と大雪に見舞われました。2014年初めに米国で発生した嵐は、単独で17億米ドルの保険損害をもたらしました。これは、過去10年間の冬の嵐による通年の損害額平均である11億米ドルを上回っています。5月中旬に5日間にわたって米国各地を襲った巨大な雹を伴う暴風雨は、29億米ドルの保険損害をもたらし、今年最も高額となりました。

2014年も北大西洋のハリケーンシーズンは比較的穏やかでした。米国に大きなハリケーンが上陸しなかったのは9年ぶりのことです。しかしながら、メキシコでは、9月に東大西洋で発生したハリケーン「オディール」による被害が生じました。強風と大雨をもたらした「オディール」は、ホテルの数が多く、企業向け保険の普及率が比較的高いサンルーカス岬やその他の観光リゾート地に上陸したため、保険損害額は16億米ドルに達しました。したがっ

Media Relations, Zurich  
Telephone +41 43 285 7171


Lucia Bevere, Zurich  
Telephone +41 43 285 9279

Thomas Holzheu, Armonk  
Telephone +1 914 828 6502

Clarence Wong, Hong Kong  
Telephone +852 2582 5644

Swiss Re Ltd  
Mythenquai 50/60  
P.O.Box  
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121  
Fax +41 43 285 2999

[www.swissre.com](http://www.swissre.com)  
 @SwissRe

「オディール」は、2005年のハリケーン「ウィルマ」に次いで、メキシコで2番目に高額な保険損害額をもたらした自然災害となりました。

太平洋の反対側では、12月に再びフィリピンに台風が上陸しました。早期推定において台風第22号(「ハグピート」)の損害額は、2013年の台風第30号(「ハイエン」)の損害額と比べて低くなると見られています。ハイエンによる被害から学んだ教訓を基にした避難方法が功を奏し、死者数が低く抑えられたと考えられます。

欧州では、今年初めに損害規模の小さな気象関連の災害が立て続けに各国を襲いました。大きな災害としては6月に発生した暴風雨「エラ」で、フランスやドイツ、ベルギー各地で財物や車両などに大きな被害が生じ、その保険損害総額は27億米ドルにのぼりました。またブルガリアも6月に雹による被害を受けました。その他1年を通じて異常気象による大雨と洪水が、英国、セルビア、クロアチア、イタリア、フランスで発生しました。

アジアでは9月のモンスーン雨により大洪水が発生し、インドとパキスタンの各地で被害が生じました。これらの洪水は2014年の洪水の中で最も多くの人命を奪いました。翌月には、インドの東海岸にサイクロン「ハドハド」が上陸しました。

異常な大雨が降った地域もあれば、降雨が極端に少ない地域もありました。例えば、中国の一部の地域では夏の異常乾燥が原因で大干ばつが発生し、農産物に影響が出ました。これらの災害による損害推定額はまだ明らかになっていません。

**表 1: 2014 年大災害による高額保険損害額上位(単位: 10 億米ドル)**

月	保険損害 <sup>1</sup>	経済的損害	事象	国
5月	2.9	3.7	雷雨、雹 <sup>2</sup>	米国
6月	2.7	3.1	暴風雨エラ <sup>3</sup>	フランス、ドイツ、ベルギー
2月	2.5	5.0	大雪 <sup>4</sup>	日本
1月	1.7	2.5	大雪 <sup>2</sup>	米国
9月	1.6	3.2	ハリケーンオディール <sup>5</sup>	メキシコ
6月	1.3	1.7	雷雨 <sup>2</sup>	米国

注: (1) 財物および事業中断の損害(生命および賠償責任損害を除く)

出典: (2) 米国自然災害概算 プロパティー・クレーム・サービス(PCS)認可取得済み (3) 各保険協会およびスイス・リーによる概算 (4) 日本損害保険協会およびスイス・リーによる概算

(5) メキシコ保険協会およびスイス・リーによる概算

**表 2: 2014 年と 2013 年の経済的損害額および保険損害額の総額**

10 億米ドル(2014 年の物価水準)

	2014 年	2013 年	変化率	10 年平均
<b>経済的損害(総額)</b>	<b>113</b>	<b>135</b>	<b>-16%</b>	<b>200</b>
自然災害	106	126	-16%	188
人災	7	9	-22%	12
<b>保険損害(総額)</b>	<b>34</b>	<b>45</b>	<b>-24%</b>	<b>64</b>
自然災害	29	37	-22%	57
人災	5	8	-31%	6

出典: スイス再保険会社経済調査・コンサルティング部

本資料の推定値は、2014 年 11 月 28 日までに出版データに追加されたすべての更新を含みます。現在発生している災害および過去に発生した災害の推定値の修正により、2014 年の損害額は変更されます。過去の推定値(米ドル)は、2014 年の物価水準に換算したものです。

#### スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通して、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863 年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界 60 カ所以上で事業拠点を展開しています。スタンダード & プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所のメインスタンダードに準拠して上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト([www.swissre.com](http://www.swissre.com))をご覧ください。また、Twitter で(@SwissRe)をフォローしていただきますようお願いいたします。